上毛新聞　（第3種郵便物認可）

白衣の天使ら抗議スト

群馬整肢療護園

労使とも県の姿勢に不信感

〝社会奉仕にも限界〟

〔いくら手当が好きでもなく職員だけは「社会奉仕」にも限界がある、からだと病みない〕と二日、群馬整肢療護園（二ノ沢義雄会長・群馬整肢療護園）の看護婦ら職員が、収入低下などを訴えてストに入ったのは昨年末。収入低下などを訴えてストに入ったのは昨年末。時金（三カ月プラス三万円）や人員増と年間単休（のこり二日）に「わ」なる期待感を抱いて労使の話し合いを続けてきたが、労使とも誠意がなかったとのことから、特に労組が強く要求している人員増については、CC整形医院全院でも全く見通しがつかない状態。労使間が妥協しないと患者の犠牲になる。

〔社会奉仕にも限界〕

〔県に移管を〕

森田理事長

二ノ沢義雄会長（整形外科医）

兵、准看員八十二人）が加盟職員。

同園は定員、収容能力一十二人、職員三十一人、保育生五人、保育士一十二人、職員三十一人（男子六人、女子五人）。

〔非常ベルを点検する高崎署〕

シアンたれ流し？

伊勢崎のメッキ工場

急襲、関係書類を押収

伊勢崎署は一日午後、暴騒防ろ、シアン化合物の疑惑を確認し、伊勢崎市寿町、三菱鉱業（ひメッキ）工業株式会社勢崎工場（小林八郎工場長）を、水質汚濁防止法違反の疑いで捜索、関係書類を押収した。

調べによると、同社は、工場内の下水路に多量の銅、亜鉛、ニッケルなどを含む廃水を流しているとの通報があったとのこと。去年十一月十五日、工場排水の分析を行ったが、これらの廃棄物からシアンが検出されたとのことで、同署では、廃水の流れ出るパイプを調べ、工場内の数カ所の廃棄物を調べたところ、シアンを含む廃棄物を発見したとのことで、同社工場長、小林八郎（ひメッキ）工業株式会社勢崎工場（小林八郎工場長）の捜索を行ない、関係書類を押収した。

伊勢崎署は、昨年秋、同署管内の工場、事業所などに対する公害防止の指導を行ない、同社工場にもメッキ用の作業をしている。

同社工場では、昨年十月ごろ、ボルト、ナットの表面処理をする際、接着されるボルトが数個、同社のメッキ加工を行っており、伊勢崎署は、同工場の再発に対する公害の防止を強く要望している。

〝大丈夫ですか？〟

高崎署　巡回警ら始める

ボーナスシーズンを迎えて、高崎署では、一日から、管内の巡回警ら を始めた。

年末なるとスリ、窃盗の犯罪が多発するこの時期、一日から、管内の巡回警ら を始めた。